

にじのへやだよ!

病児保育室にじのへや

蕨市病児・病後児保育事業

2019年12月発行

(Vol.2)

こんにちは！病児保育室にじのへやです。皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

冬晴れが心地よく、クリスマスの準備に心躍る季節となりましたが、一方で、気温の低下や乾燥が進み、インフルエンザの流行が気になる時期でもありますね。

そこで今号は、「にじのへやってどんなところ?」「インフルエンザについて」の2本立てでお送りします。

にじのへやってどんなところ?

にじのへやでの一日の流れをご紹介します。

8:00~受け入れ・持ち物確認・検温

専任保育士が、お子様の症状やご家庭での様子について丁寧に聞き取りを行います。



行ってらっしゃい!

自由遊び

お子様のご体調を見ながら、ひとりひとりにあった遊びを行います。安心してすごせるよう、家庭的な雰囲気での保育を心がけています。ご体調によっては、休息を促すこともあります。



おもちゃや絵本も
ありますよ♪

9:30~おやつ・検温

11:00~昼食・与薬

お家の方が用意して下さったお昼食をいただきます。お薬があるときは、お子様に合った方法で内服をお手伝いしています。



季節の制作を
することも...

市販の離乳食や
お弁当でもOK



12:00~お昼寝・検温

十分に休息がとれるような環境を心がけています。



15:00~おやつ・検温・自由遊び

「今日のおやつは何か?」
子どもたちが大好きな時間です。

~18:00 お迎え

専任保育士が、お子様の一日の様子についてお伝えします。



楽しかったね!

※一日の流れはお子様の年齢やご体調によって変わります。

※予約方法や持ち物については、ホームページやパンフレットをご参照ください。

※見学や事前登録も受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染で起こります。

普通の風邪が鼻汁や咳から始まることが多いのに対し、インフルエンザは急に高熱が出るのが特徴です。

悪寒や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状も強く、鼻汁や咳などの症状は後から出てくることが多いです。

重症化すると肺炎や脳炎、心不全を起こすことがあり、注意が必要です。

治療には抗インフルエンザ薬が有効ですが、発症後 48 時間以内の使用が望ましいです。

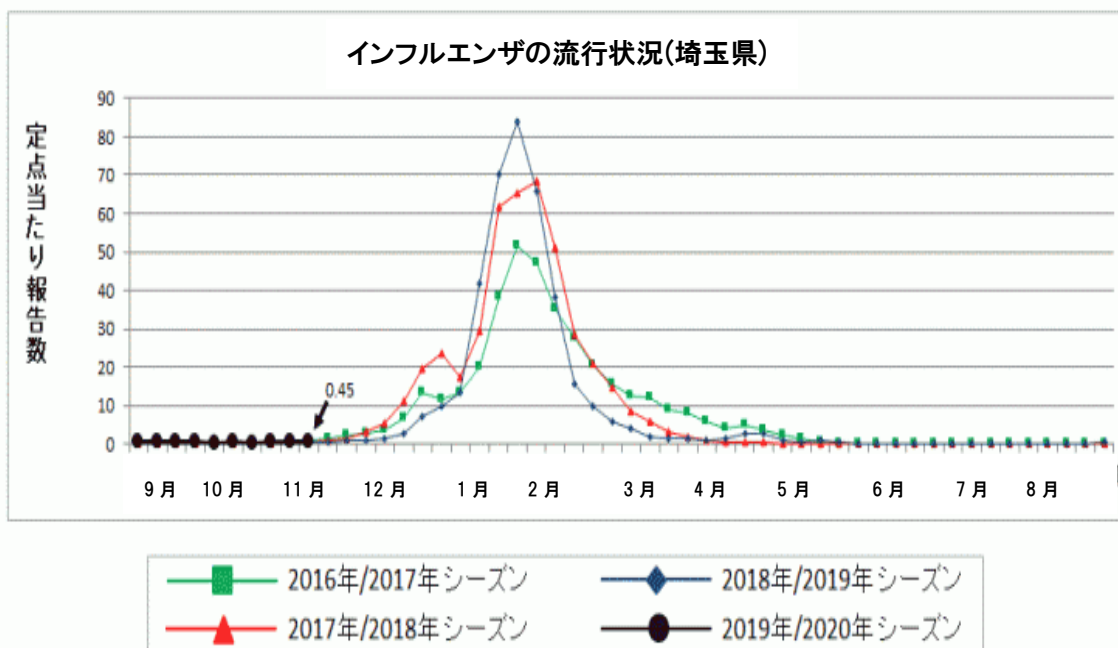
インフルエンザかな?と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザを予防するには

○予防接種を受ける

例年、インフルエンザの流行は 11 月頃～4 月頃までみられます。

今からでも遅くはないので、予防接種を受けましょう。



○人込みを避ける。やむを得ない場合は、マスク(不織布製のもの)を着用する。

○手洗い・うがいをしっかり行う。

インフルエンザの感染経路は、飛沫感染(感染した人の咳やくしゃみのしぶき(飛沫)に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染)と、接触感染(ウイルスの付着した手で目・口・鼻を触ることによる感染)です。



○乾燥を予防する。

インフルエンザは乾燥を好み、蔓延します。室内では加湿器などを使用して適切な湿度(50~60%程度)を保ちましょう。水分補給もしっかり行いましょう。

○ウイルスへの抵抗力をつける。

栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。

特に、粘膜を丈夫にするビタミン類が不足しないように気をつけましょう。

早寝早起きで生活リズムを整え、疲れをためないようにしましょう。



※病児保育室にじのへやでは、インフルエンザのお子様は「解熱後 24 時間経過」していればご利用可能です。詳しくはお問合せください。

※**小学校 6 年生までご利用できます!!**

病児保育室にじのへやFacebookにて、インフルエンザについて更に詳しい情報を公開中です。上記 QR コードを読み取り、アクセスしてください!